

>>>> 九州・沖縄産業技術オープンデー <<<<<

11月29日に、鳥栖市民文化会館と産業技術総合研究所九州センター（鳥栖市）において、九州・沖縄産業技術オープンデーが開催され、各方面から451名の参加がありました。

当センターからは、瀬戸口眞治 食品・化学部長が、濱田酒造(株)の原健二郎 生産部長とともに「芋焼酎原料用サツマイモの選抜～新品種サツママサリ」のテーマで口頭発表をしました。

また、次のようなテーマでパネル発表も同じ会場で行い、各担当の研究者による詳しい説明を多くの来場者に行うことができました。

- ①鹿児島県工業技術センターの概要
- ②青切り小みかんを利用した新商品の開発
- ③静電気放電発生箇所可視化技術の開発
- ④竹繊維を活用した高強度材料の開発



講演会の様子



パネル発表の様子

>>>> 創立25周年記念研究成果発表会を開催 <<<<<

当センターは、昭和62年12月に、工業系3試験場を現在地に統合移転し、今年12月1日で25年を迎えました。設立以来、県内企業の「技術的拠りどころ」を基本理念とし、研究開発と技術支援を二本柱として、県内企業のニーズや地域資源の活用、技術の高度化を念頭におきながら業務に取り組んできました。

今年は、創立25周年を記念しまして11月30日に研究成果発表会を開催し、口頭発表6件、ポスターセッション16件の発表を行いました。

また、県内企業をサポートする支援機関6団体

の展示ブースを設置し、支援施策や活動PRを行いました。

県内企業の方々をはじめ各方面から153名の参加があり、参加者からは、当センターの研究内容や研究成果の試作品等に関心が寄せられ、活発な質問や意見交換が交わされていました。

なお、発表会のプログラム及び発表の概要をまとめた予稿集については、当センターのWebサイト（刊行物）に掲載してありますので、ご覧ください。（<http://www.kagoshima-it.go.jp/>）



成果発表会の様子



ポスターセッションの様子